

## 働き方・将来像が大きく変えられようとしている今年 労働者の利益を守るため組織の強化・拡大を実現しよう

組合員の皆さん、新年明けましておめでとーございませう。

日頃より新潟地方本部の取り組みにご理解・ご協力頂いていることに感謝します。

すでに計画的な運休も数度にわたり実施されるなど、厳しい冬を迎えています。

JR東日本労働組合新潟地方本部  
星山執行委員長 年頭あいさつ

新潟支社で働く私たちにとつての宿命ともいえますが、安全を第一に、この冬を健康で乗り越えていきましょう。

昨年新型コロナウイルスの影響を大きく受けた一年でした。そのような中でも私



たちは、組合員・家族の利益を守るために運動を創り出してきました。集まるといふことに

制約が課せられた2年間を送ったことで、組合員同士で顔を合わせる

こと、集まって直接会って話をすることの大切

さを強く実感することになりました。今後

「感染しない、感染させない」ためにより厳格に

対策をとりながら取り組みを進めてい

きましょう。感染拡大も秋口から落ち

つきを見せているとはいえ、オミクロン株の整備を求

わせて4・0ヶ月分に抑えられたいこと、生活が苦しいという切実な率直な声が聞かれるまでになりました。

年末手当の取組みとして「自分の賃金見える化シート」を取り組むこと、このわずか1年で

自分の生涯賃金が大きく削られたという事実も数字として実感する

ことができませんでした。賃金を要求して勝ち

取ることを、労働条件の改善を求めて実現するこ

とは労働組合にしかできません。相次ぐ会社施策

に対し労働組合としてチエックを革2027のスピード

アップ」を打ち出した経営陣は、組織の再編や

制度の見直しなど大きな施策を矢継ぎ早に提案

し実施に移しています。設備21、駅の変革、乗

務員勤務制度の見直しなど、数々の施策が積み

上げられてきた中で、職名の見直しや現業機関

合う時、組合員・家族の幸福のために、そして、業務においても「失つてはならないものは何なのか?」今一度見つめ直すことが重要です。

サステイナブルなJR東日本を目指すことに異論はありません。

しかしこれらの施策が安全をトッププライオリティとするJR東

日本に適したものなのか、労働組合としてのチエック機能が問われる

重要な一年となります。そのためにも更なる

組織の強化・拡大を実現し、労働者の安全や、働

きがいのある施策実現に繋げる年としていき

ましよう。新潟地方本部はその

最先頭でたまたか抜くことをお約束し、組合

員、御家族の皆さんのご健勝を祈念しまして年

頭の挨拶とします。

### 謹賀新年

さらなる組織の強化・拡大を実現し、労働条件の維持・向上を実現するために、全組合員で力強く運動を創り出しましょう!



二〇二二年 元旦  
JR東日本労働組合  
新潟地方本部 執行委員長 岡



### 2022年元旦

闘春  
2021春闘や期末手当のたたかいは、初めて赤字下という条件の中での取り組みとなりました。黒字化を実現すると

明言した会社による営業費削減の取組みは人

も、期末手当が夏・冬合